

とやのメール 市民活動ニュース

「どやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動など「ちょっと始めてみませんか?」という思いが込められています。

2014年2月号(第22回)

地元って ～市民まちづくり応援団 養成講座 [地区版] レポート～

やっぱ スゴいよねえ。



2012年から始まった「市民まちづくり応援団養成講座」をご存知でしょうか? 市が地域活性化の“核”となる人材を育てるため、全市の皆さんを対象に進めてきたこの講座に、今年度から[地区版]も登場!

その先陣を切った、豊地区と中河地区の様子をレポートします。



▲H25年度の講師を務めたおふたり。基調講演を担当された清水氏(右)と、シリーズでのワークショップを担当された坂本氏(左)。

●続けてこそその“まちづくり”

1月15日(水)の午後7時30分、中河公民館の大会議室では6回シリーズの講座の口火を切って、NPO法人美山まちづくりNPO理事長の清水正一氏による基調講演が始まりました。

40名近い参加者の前で語られたのは、『自分たちが楽しい!と思えばこそその“まちづくり”』。

「楽しい」からパワーが集まり、「楽しい」から持続する。“まち”があり続けるように、“まちづくり”だって、続いてこそ価値があるもの。

そのためには、企画や運営が負担になり過ぎないことが重要だとのお話です。



▲少々緊張感も漂う、最初のワークショップ。

事実、美山まちづくりNPOでは、人気の企画でも、スタッフの負担が増えてくると、休止をすることもあったとか。

また、そんな「楽しみ」で培われた地域のネットワークが、2004年の福井豪雨の際には、大きな助けになってくれたエピソードも印象に残りました。

●プロセスが重要!

1月22日(水)からは、中河地区でのワークショップの始まりです。講師は、ノーム自然環境教育事務所代表の坂本均氏。まずは、“まちづくり”に不可欠な“合意形成”の流れを体験してみます。

『今日オススメの机の並べ方』についてグループごとに話し合い、他のグループとも結果を評価し合いながら、ベストのアイデアを投票で決定。そのアイデアどおりに全員で机を並べ替えました。

いわば、地域での意志決定をシンプルにした模擬体験ですが、ここで大切なのは、選ばれた結果以上に“みんなで関わって、同意して、実行する”というプロセスそのものだと、坂本氏は話します。

丁寧なコミュニケーションこそ、地域の“思い”をまとめるための基本なのです。

裏面につづく→



編集・お問い合わせ 「とやのメール」は、鯖江市との協働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 さばえNPOサポート

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市市民活動交流センター内

TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058

Email : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>



表面からつづく↓

●[地区版]ならではの強いつながり

中河地区に先立って、2013年8月8日(木)から地区版の市民まちづくり応援団養成講座を開始したのが、豊地区でした。

基調講演と4回のワークショップ、そして成果発表会の計6回のシリーズでは、回を追うごとに、参加者の熱気が強くなるのが伝わってきました。

よくある“リーダー養成講座”と違っていたのは、“全員が同じ地域で生活している”という、目に見えない一体感です。

言葉にしなくても、皮膚感覚で共有している地域の雰囲気や課題などがあり、一度話題に火がつくと次々飛び出してくるアイデアは、まさに地区の“宝”であり、“誇り”であり、“愛情”でした。

そこに[全市版]の養成講座とはまた違う、新たな可能性を感じさせられました。

●“リーダー”と言うより“応援団”

地域の“核”となる人材育成が目的の、この事業ですが、それは新しい“リーダー像”を考えさせられる企画でもあります。

最近、発言力のあるカリスマ的リーダーに代わって“サーバント(奉仕)型”や“調整型”のリーダーという言葉を目にする事も増えてきました。

みんなの意見を引き出して共有し、様々なコミュ

ニケーションを通じて、多くの参加者が納得できる結論を導き出せるような“リーダー”です。

押しの強い行動をしない分、多くの人から信頼される『人間力』が試される立場ですが、市民が参加する地域社会を目指すうえでは、とても大切な役割を担える存在です。

その意味で、市民まちづくり応援団養成講座は、文字通り、地域の“応援団員”を増やそうという目的を持っているわけです。

●話し合いの先に見えるもの

「“話し合い”は人が変わる場所。ひとりひとりが変わり、育つことが、地域や社会が変わることなんだと思います。」

講師の坂本氏のこの言葉は、まさに、このプロジェクトの進む道を指し示しているように感じます。

[地区版]のまちづくり応援団養成講座は、来年度以降も新しい地区で開催される予定です。

そこは、立場にかかわらず、地域の課題や希望を話し合える場です。

皆さんの地元で開催される時には、ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。

お待ちしております！



豊地区のワークショップで他のグループの成果を真剣に評価する参加者。

▼豊地区でのワークショップの様子。



※ホームページでPDF版も公開中！

オザンポザンポメ・デキマシタ☆

■さばえNPOサポートが発行する鯖江の市民活動情報冊子『OSANPO～3歩目～』(無料)が完成しました！

■A4版・24頁フルカラーで、6つの団体さん&事業の紹介など“思い”の詰まった読みどころ満載の1冊。豊地区の「市民まちづくり応援団養成講座」の記事もあります！

■ご希望の方は、さばえNPOセンターまで☆